

総合計画の策定に関する基本的な考え方

1 策定の趣旨

本市では、総合的・計画的な行政運営のため、総合計画を策定し各種施策を推進している。
 現在、「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を将来都市像とする第七次福井市総合計画に基づきまちづくりを進めているが、計画期間が令和3年度に終了することから、令和4年度を始期とする第八次福井市総合計画を策定する。

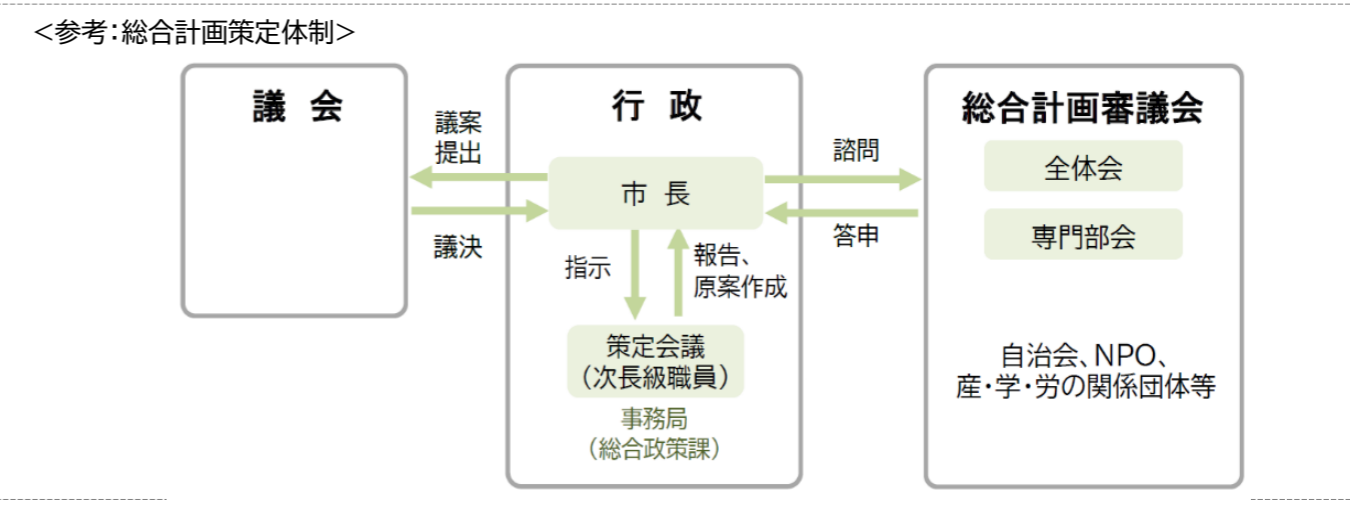
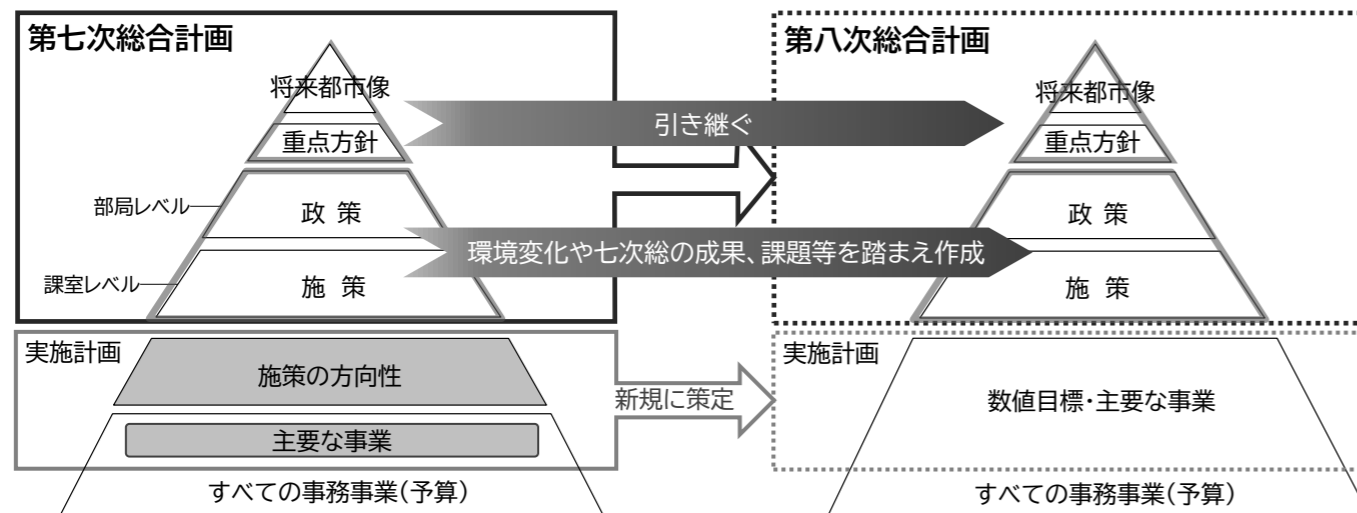
2 計画対象期間

令和4年4月～令和9年3月(5年間)

3 基本的な考え方

- ・第七次総合計画の将来都市像及び重点方針は、本市の将来を見据えて長期的に取り組む本市の姿として設定したものであり、今後もその実現に向けて継続して取り組んでいく必要がある。
- ・第八次総合計画の策定においては、現行の将来都市像及び重点方針を継承しつつ、社会・経済情勢等環境の変化や、七次総における取組の成果、課題等を踏まえて、政策及び施策を設定する。
- ・七次総と同様、総合計画には市政運営の基本的な方向性を定めるものとし、主要な事業や数値目標については、実施計画に定める。

【総合計画(素案)の階層イメージ図】



4 前提となる社会情勢、社会的要請

(1)社会情勢の変化・時代の潮流

- 少子高齢化・人口減少社会
 - ・人口構造の変化(年少人口の減・生産年齢人口の減・高齢人口の増)
 - ・地方から大都市圏への人口流出
- 防災・減災、環境問題への対応
 - ・地震や豪雨、大雪などの自然災害が多発
 - ・地球規模での温暖化などの環境問題への対応
- 社会資本の老朽化
 - ・インフラや公共施設などの社会資本の老朽化が進行
- 先端技術の活用及び人材育成
 - ・IoT、ロボット、人工知能(AI)等、先端技術のあらゆる分野における活用
 - ・先端技術を活用できる人材育成及び人材確保が急務
- SDGs(持続可能な開発目標)の推進
 - ・「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた対応
- 新型コロナウイルス感染症などのリスクに対応できる社会づくり
 - ・感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る「新たな日常」の実現

(2)本市を取り巻く環境の変化

- 北陸新幹線福井開業、中部縦貫自動車道の県内開通後における環境変化への対応
 - ・北陸新幹線福井開業準備や大阪までの早期延伸に向けた取組、二次交通のさらなる充実
 - ・福井開業後を見据え、プロモーション強化や観光誘客、販路拡大などの新たな展開を推進
- 中核市、連携中枢都市圏の中心都市としての役割
 - ・中核市としての権限を活かした市民ファーストの視点による行政運営
 - ・県や嶺北市町との連携による効果的・効率的な施策展開
- 持続可能な行財政運営
 - ・財政再建計画の着実な実施により収支均衡した財政構造を確立